

会社のリスクが見えていますか？

トップからは意外と見えないリスク、それを放置することは「競争力の低下」「収益低下」「製品リコール」「労働争議」「訴訟」「内部告発」「営業停止」「経営破たん」という最悪な事態につながります。

i-CRASは会社に潜在するリスクの「見える化」をお手伝いします。

こんなことでお悩みではないですか。

- ・人材の入れ替わりが激しく、定着しない。有用な人材を採用できない。
- ・誤配・未配・遅配など、配送上のミスでお客様や取引先とのトラブルが多い。
- ・社内のコミュニケーションが不十分で、業務遂行に影響がないか。
- ・パワーハラスメントなどの差別的な行為が行われていないか。
- ・長時間残業や労働環境に問題があり労働争議などが起こりやすい環境にないか。
- ・商品・サービスの開発力が低かったり、品質管理に問題がないか。
- ・個人情報の運用・管理への取り組みが不十分ではないか。
- ・会社のコンピュータやWebサイトのセキュリティ対策は十分か。
- ・異常気象による商品・サービスの売上ダウンは許容範囲内の損失か。
- ・地震などの自然災害による事業の継続に対する体制構築は十分か。
- ・調達先や外注先、商品・サービスの販売先が倒産する恐れはないか。
- ・法律の変更や規制の強化、経済環境の悪化などの変化に対応できるか。

対応にお困りではないですか。

- ・リスクマネジメントを行う必要性は感じているが、どこから手をつけて良いのか判らない。
- ・社員数が少なく社内プロジェクトとしてリスクマネジメントに取り組むことができない。
- ・法的要請事項だが、なるべく時間と手間を省かせずにリスクマネジメントを始めたい。
- ・これまで、全社的なリスクを抽出したことがない。
- ・株主さまに向けて、全社的なリスクの洗い出しを行ってみたい。
- ・様々な分野の違うリスク(ex.安全衛生とコンプライアンス)の重要性を比較検討する手段が無い。
- ・抱えるリスクをどう優先順位・予算配分で対策するかで、社内の意見が分かれる。
- ・リスク対策の重要性に客観的な指標を取り込みたい。
- ・複数の国内外の子会社や現地法人のリスクを個別に抽出したいが、予算が限られている。
- ・社内の意識が低く、リスクマネジメント体制の構築に対する協力が得られない。
- ・管理職の実務者研修としてリスクの評価手法を体験させたい。
- ・不祥事の再発防止対策の一環として、リスクマネジメントを一刻も早く実施したい。
- ・3か月以内のリスクマネジメントプログラムを講じる必要に迫られている。

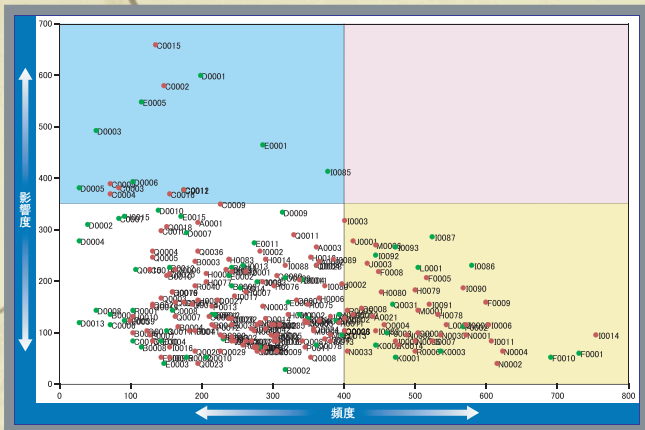
その解決策、i-CRASで見えてきます。

■リスクが俯瞰で見えてきます。

社内外に存在する様々なリスク。対策の優先順位を決めるには、これらの様々なリスクを同じ土俵上で並べて考える必要があります。i-CRASは。。。
リスクを影響度と頻度で算定し、「リスクマップ」と「リスクランキング」で会社リスクの全様を見ることができます。

▶▶リスクマップ

横軸を頻度評価点、縦軸を影響度評価点として座標上にプロットしたものがリスクマップになります。



▶▶リスクランキング

リスクマップ上で対応が必要なエリアに入ったリスクを総合評価点の高い順にリストアップしています。

移転リスク			低減リスク			回避リスク		
コード	リスク説明	頻度	コード	リスク説明	頻度	コード	リスク説明	頻度
C0015	経営陣	383	F0010	法律	438	C0016	死亡・負傷事故	388
D0001	地震	374	B0006	業務の複雑化・処理量の増大	421			
E0015	失中身・標準化	354	F0001	申請	410			
G0002	火災・爆発	296	H0078	人々の移動リスク	398			
E0005	窃盗	279	B0086	包装不良	395			
G0005	IT施設の物理的	245	B0011	誤配・未配・遅配	380			
J0004	機密管理不良	235	B0008	部品・設備のメンテナンス不良・劣化	378			
			M0001	サービスの悪化	374			
			N0002	人材リソースに関するリスク	367			
			O0002	商品・サービスの開発力の弱さ	364			
			N0001	他社・業種別制度・基準の矛盾	362			
			K0087	日経連加入及び日経加盟費	361			
			F0009	保険	358			
			A0021	当社グループ全体(親会社・持株会社等)の方針・規程の違背	355			
			B0007	車検ミス	354			
			B0009	機密管理(送付経路・送付先)	354			
			A0003	経営陣の悪化	353			
			F0009	異業・異種	352			
			N0003	社会規範へのパフォーマンス悪化	352			
			N0004	コミュニケーション不良	349			

リスクマップでは全体のリスク傾向や各リスクの相対的な危険度を把握することができます。リスクマップは「回避エリア[右上]」、「低減エリア[右下]」、「移転エリア[左上]」、「保有エリア[左下]」の4つのエリアに分かれます。

リスクランキングはリスクマップ上で「移転エリア」、「低減エリア」、「回避エリア」にプロットされたリスクが「評価点の高い順」にランク付けして表示されます。これを基に社内の体制やコントロール等の実情を加味・検討して、リスクの優先順位と対策を決定していくことになります。

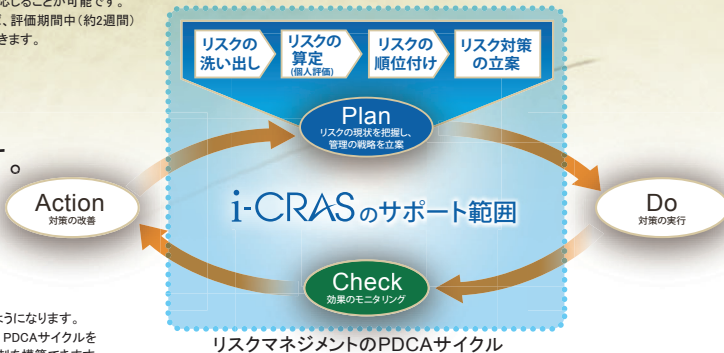
■スタッフの声から見えてきます。

それぞれの業務を一番理解しているのは、その業務を担当しているスタッフです。全社的なリスク対策の優先順位を決めるには、様々な部門のスタッフがリスクを評価した結果を集積する手段が必要です。

i-CRASは。。。
社内スタッフ自らが企業活動で抱えているリスクの評価を行う方式です。個別に評価した結果を1つに算定し、リスクマップ、リスクランキングを作成します。評価者の数には制限がなく、様々な企業規模に応じることが可能です。また、インターネットに接続可能なPCがあれば、評価期間中(約2週間)いつでも、どこからでもリスク評価を行うことができます。

■続けることで、見えてきます。

i-CRASは。。。
次年度からは貴社の過去データと比較し、その変移を定量的に確認することができます。また、新規のリスクを追加したり、不要になったリスクを削除したりといったカスタマイズで、より貴社に適したリスク評価を行うことができます。i-CRASを貴社のリスク台帳として活用いただき、PDCAサイクルを繰り返すことで、より強固なリスクマネジメント体制を構築できます。



リスクマネジメントのPDCAサイクル

i-CRASサービス仕様

サービス概要	super
最大評価者数	51名～
アカウントメール個別配信サービス	●
評価期間	45日間
リスク項目	
基本評価リスク項目数(非上場企業)	142
基本評価リスク項目数(上場企業)	161
リスク項目カスタマイズ	●
オプションリスク項目(最大追加項目数)	～120
企業リスクアセスメント報告書の作成	
目的・業務概要	●
評価者の内訳	●
リスクマップ	●
エリア別・ウェストリスクランキング	●
全リスク・ウェストリスクランキング	●
リスク種別別・リーダーボード	●
市場平均・業種平均との比較**	●
匿名ベスト10リスクマップ	●
前回総合ベスト10の推移**	●
前回からの変化率ランキング**	●
経年変化・リーダーボード**	●
カテゴリ別・リスクマップ	●
リスク種別・リスクマップ	●
リスク評価点一覧	●
リスク項目の解説	●
個別別評価点一覧	●
カスタムレポート(新規リスクの洗い出し)	●
販売価格(税別)	180万円～

**1 前年度のデータは提供、新規の追加分のみ。 **2 3回前まで。 **3 経年変化のグラフ表示は15分(15日)ごと。

詳しくはi-CRAS,i-CRSS Webサイトをご覧ください。
<http://www.dhouse.co.jp/cras-crss>

上記Webサイトでは、i-CRASの操作をご体験できる他、i-CRASで得られる各種ドキュメントのサンプルをご覧いただくことができます。
【操作体験】http://www.dhouse.co.jp/cras-crss/Try/cras/client_login.html
【サンプル】http://www.dhouse.co.jp/cras-crss/new-data/cras_6.html
お問合せ ☎ 0120-66-8030 e-mail: i-cras@documenthousegroup.com
受付時間 / 9:00 - 17:00 ※土日祝を除く

■提携企業募集中■

ドキュメントハウスグループでは、現在、i-CRASを貴社の商品・サービスと合わせてお取り扱いいただける企業を募集しております。コンサルティング業務のツールとして、リスクマネジメントセミナーの教材として、既存の製品・サービスに付加価値をつけるために、新たな顧客ニーズの掘り起こしツールとして、貴社の業務拡充に、ぜひi-CRASの導入をご検討ください。i-CRASをベースにしてリスク項目を入れ替えるなど、貴社独自のカスタマイズのご提案もお受けしております。詳しくは、<http://www.dhouse.co.jp/cras-crss/new-data/Call.html>